

教職員共済創立50周年特別企画  
「学校 花いっぱい運動」  
取材報告

# 「花育」で好奇心を育て、 やさしい心を育む

PART  
1

■埼玉県春日部市立宮川小学校



「花は心の潤い」とおっしゃる校長先生。「花育」を通して、子どもたちに育てる楽しさや素晴らしさを味わってもらいたい。そのために宮川小学校は全力で取り組んでいます。



「あむりん」のプランターに球根を植えていく。

なれば桜の花やサフィニアの花などと一緒、チューリップも咲き誇る光景が見られると思いますよ」と期待されていました。また、宮川小学校は、地域や企業とのつながりも大切にしています。その一例がサフィニアという花。サフィニアは、夏の花壇に欠かせない花として人気のペチュニアの園芸品種。サフィニアを共同開発した企業に協力を依頼し、サフィニアの種を提供してもらいました。

さらに、「花育」を進める宮川小学校は、企業の「花育キャラバン」という企画にも応募し、ミニトマトの苗の提供を受けました。

「ミニトマトさん、早く大きくなって、おいしい実をたくさんつけてね」と苗に話しかけながら植える低学年の子どもたち。

「この姿こそ私が育てていきたい感性なんです。水やりなどの世話をしながら、日々成長していく草花や野菜などを観察し、記録を付け、そして、収穫する。そうした機会をつくり、植物への好奇心や、もっと詳しく知りたいという意欲につなげていきたいと思っています」そう熱く語るのは高橋信行前校長先生です。

子どもたちが愛読する『赤毛のアン』には、

花と緑に育まれる  
宮川小の子どもたち

春日部市は、埼玉県東部に位置する人口約24万人の都市で、市の花は藤。そのため東京近郊の藤の名所として知られています。春日部郵便局から春日部地方庁舎間の車道両側に、約1.1キロメートルの藤棚が連なり、毎年春に開催される「春日部藤まつり」のころには、垂れ下がる淡紫色や白色の花房が多く、観光客や市民を楽しませてくれます。

春日部市の住宅街に隣接する宮川小学校も、正門を入ると藤棚が迎えてくれます。右側には広い校庭。奥へ進むと、プランターに植えられたさまざまな花、さらに行く、桜のトンネルや学校ビオトープがあり、木々が茂る「ブチ軽井沢」もあります。

春日部市は、東京やさいたま市のベッドタウンですが、宮川小学校には、自然豊かな教育環境が子どもたちを育んでいる校風があるように感じました。それは校歌にも歌われています。

あけぼのの 豊かな春に  
新なる ここは宮川  
みどり野の里  
花の里  
みんな仲良く  
やさしい心  
あ、宮川小学校



正門に入ってすぐにつくられた藤棚。5月になれば満開に咲き誇る。



校内にはさまざまな花が咲いています。

数多くの植物が登場し、物語に彩りを添えています。宮川小学校では、この物語をイメージした花壇づくりも行っています。4年生が午前中に、花壇の栄養になるように肥料を入れて土づくりを行い、午後からは、その花壇に1年生が『赤毛のアン』に出てくる植物を植えて完成させるというリレー作戦となりました。

「チョコレートコスモスって、本当にチョコレートのおいがるんだね」

「お花の中はほんとうにあったかいかも」子どもたちが口にする素朴な感想とみずみずしい感性にうれしくなったと野口先生は話されます。

学校は「社会の学びの場」と考える宮川小学校。そのために「個の確立」と「公の発展」を

地域や企業の力を借りて  
花いっぱい運動を実施

「豊かな心を持ち、進んで学んで行動できる子どもに育ててほしい」という願いから、知恵を絞って種や苗を集め、植物を育てる過程を子どもたちと一緒に楽しめるように努力しています」とおっしゃるのは教務主任の野口京子先生。

教職員共済創立50周年特別企画の「学校花いっぱい運動」に申し込まれたのも、その一環です。取材に伺った3月、「いただいた100個の球根を子どもたちの手でプランターに植えました。春に

左/土づくりは4年生の担当。  
下/教務主任の野口京子先生



掲げ、「個の確立」では自立の基礎（学力・心・身体）を、「公の発展」では地域社会の発展を願う教育活動を目指しています。地域や企業の力を借りての学校ファームの充実、まさにその一環として行われているものなのです。

宮川小学校の先生たちの「本気」「全力」度が、こうした教育目標を実現するための行動に現れているようです。

## Column

### 豊かな自然環境が宮川小の最大の特徴

宮川小学校にはさまざまな種類の樹木が約2300本もあり、1本ずつにネームプレートも付けられています。関係者からは「樹木の博物館」とも呼ばれているそうです。中庭にある「ブチ軽井沢」は、5月には若葉が広がり、木漏れ日が美しく、小鳥たちのさえずりが響き渡り、まさに軽井沢を彷彿とさせます。

果樹園では毎年プラムやアンズ、ブルーベリーなどの実を収穫できます。また田植えから稲刈りまでも体験でき、新米を味わう収穫祭も開かれます。



ブチ軽井沢。木漏れ日差す小径を歩けば、小鳥のさえずりも心地よい。